



オオハシ・キング ぼくのなまいきな鳥



当原珠樹／作
おとないちあき／絵
PHP 研究所(2020年)

簡単な言葉で話す鳥「オオハシ・キング」は、だんだん人間の言葉がわかるようになります。でも、覚えた言葉で家族や友だちを怒らせてばかりで拓真は悩まされっぱなしです。



ぼくのあいぼうは カモノハシ



ミヒヤエル・エンゲラー／作
はたさわゆうこ／訳
杉原知子／絵
徳間書店(2020年)

ルフスは人間の言葉が話せるカモノハシと出会います。そして、ふるさとのオーストラリアへ帰りたいカモノハシの手伝いをする事になりました。ふたりのゆかいな冒険の始まりです。

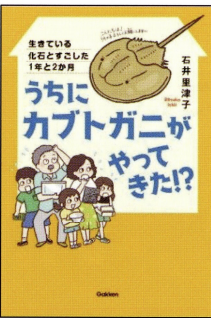


こうまのマハバット



市川里美／作
BL 出版(2020年)

おじいちゃん、おばあちゃんとすごすはじめての夏。ジャミールはケガをしたこうまと出会います。いっぱいお世話をして…やがておわかれのときがきました。



うちにカブトガニが やってきた!? 生きている化石とすごした 1年と2か月



石井里津子／文
松本麻希／絵
学研(2020年)

生き物をかうのはたいへん。ましてや、カブトガニなんて! かんさつして、相談して、なやんで…。生き物と向き合った、とくべつなたいけんのきろくです。

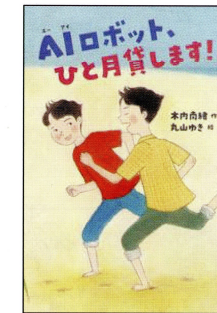


韓国のおむかしばなし イワシ大王のゆめ



チョン・ミジン／再話
イ・ジョンギョン／絵
おおたけきよみ／訳
光村教育図書(2019年)

ふしぎなゆめを見たイワシ大王。ゆめうらないができるハゼをつれてこいと、ヒラメをお使いに出しました。くろうしてつれてきたのに、ほめてもらえなかったヒラメはおこって…。



AIロボット、 ひと月貸します!



木内南緒／作
丸山ゆき／絵
岩崎書店(2020年)

栄太の家にやってきた AI ロボット「エイト」は、栄太にそっくりでとても優秀。時々入れかわったりしているうちに、だんだんエイトにとって代わるるのではと考えます。

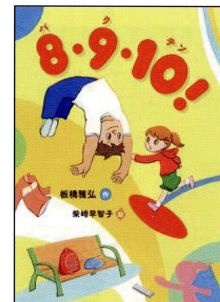


虫ガール ほんとうにあったおはなし



ソフィア・スペンサー／文
マーガレット・マクナマラ／文
ケラスコエット／絵
福本友美子／訳
岩崎書店(2020年)

虫が好きなことで、いじめにあうようになったソフィア。でもお母さんが出した一通のメールに世界中の昆虫学者のはげましの言葉が返信され、元気をとりもどしていきます。



8・9・10!



板橋雅弘／作
柴崎早智子／絵
岩崎書店(2020年)

わたしには夢がない。バレエやピアノを習いたいけど、ママにむりをさせたくないから、言わない。ある日、ぐうぜん知り合ったおかしなおじさんにバク転を教わる事になりました…。

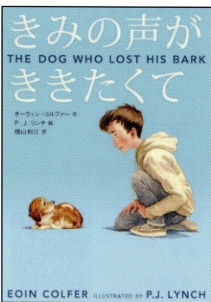


エルシーと魔法の一週間



ケイ・ウマンスキー／著
岡田好恵／訳
評論社(2020年)

雑貨店の長女・エルシーは、ある時魔女の塔での一週間のるす番を引き受けることに。こまったお客やトラブルを、店番の経験とかしこさで乗りこえていきます。



きみの声がききたくて



オーウェン・コルファー／作
P. J. リンチ／画
横山和江／訳
文研出版(2020年)

かい主にすてられ、ほえることができなくなった子犬。少年は子犬を引き取り大事にするけれど、いつしか声がでなくなる。少年と子犬は声を取りもどせる?



くろりすくんと しまりすくん



いとうひろし／作・絵
講談社(2020年)

くろりすくんは木の上で、しまりすくんは地上でくらしています。毎日なかよく遊んでいたけど、しまりすくんがねむってしまう冬がやってきて…。



「お手伝いしましょうか?」 うれしかった、そのひとこと



高橋うらら／文
深蔵／絵
講談社(2019年)

町で見かけたこまっている人。お手伝いしたいけれど、どうしたらいいかな?なんて声をかけたいのか、どんなお手伝いができるかを知って、自信をもって声をかけてみよう!